

國學院大學学術情報リポジトリ

「國學院大學 国学研究プラットフォーム」の成果 公開とデータベース再構築

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 久史 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000609

「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の成果公開とデータベース再構築」

プロジェクト責任者 松本 久史

1. プロジェクトの概要

本プロジェクトは、日本文化研究所の2つの研究部門のうち、建学の精神に基づき旧日本文化研究所の神道・国学研究を継承する「神道・国学研究部門」の研究事業として行われるものであり、2011～2013年度の研究事業「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」以来築き上げてきた「国学研究プラットフォーム」をはじめ、これまで日本文化研究所において蓄積された研究成果の発信を主たる目的とする単年度の事業である。

研究開発推進機構の発足以来、日本文化研究所における神道・国学部門の研究事業は、以下のように進められてきた。

- ・2007年度「近世国学の靈魂觀をめぐる思想と行動の研究」（責任者：松本久史）
- ・2008～2010年度「近世国学の靈魂觀をめぐるテキストと実践の研究—靈祭・靈社・神葬祭—」（同）
- ・2011～2013年度「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」（責任者：遠藤潤）
- ・2014年度「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』を拠点とする国学の『古事記』解釈の研究」（同）
- ・2015～2017年度「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」（同）
- ・2018～2020年度「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の展開と国学史像の再構築」（責任者：松本久史）

前述の経緯を踏まえて、本プロジェクトは以下の3つの目標によって構成されている。

I. 近年の研究を踏まえた最新の国学史像を提示する入門書を刊行する。

II. 学内を中心とする国学・神道関係の資料調査・整理を行い、データベースを拡充する。

III. 定例研究会・公開レクチャーの開催及びウェブコンテンツを通じ成果を広く発信する。

かかる2021年度のプロジェクトは、以下のメンバーによって実施された。

責任者 松本久史

分担者

専任教員：武田幸也

兼任教員：遠藤 潤、松本久史

PD研究員：問芝志保、古畑侑亮

研究補助員：木村悠之介

客員教授：林 淳

共同研究員：井関大介、一戸 渉、今井功一、荻原稔、小田真裕、小平美香、齋藤公太、芹口真結子、原田雄斗、三ツ松誠

2. 2021年度 プロジェクトの研究成果

I. 近世・近代国学史像の再構築と発信

（1）前年度に引き続き、新たな国学史像を発信するための国学入門書の編集を進め、『歴史で読む国学』のタイトルでぺりかん社より刊行した（本誌トピック7参照）。

（2）各章の具体的な内容について、国学研究会を中心に報告、検討を加えた。

II. 国学・神道関係人物のデータベースの拡充

データベースの拡充に関連して本学所蔵の

国学者関係資料の整理を行った。1つは、2015年度に本機構に寄贈された「今泉定助先生関係資料」について、資料保存のための整理を昨年度から引き続いて行い、完了した。また、2007年に國學院大學図書館に寄贈された明治期の国学者井上頼国と、その子・孫である頼文及び頼寿の井上家三代の膨大な資料群である「井上氏旧蔵資料」について、特に井上頼国関係の書翰を中心に概要の把握と目録の作成を進め、270点ほどの整理を実施した。同資料の整理作業については、2022年度より本機構の研究開発推進センター「古典文化学」事業へと引き継がれて、整理作業が進められている。

Ⅲ. 国学研究ネットワークの拡張

(1) 本プロジェクトの研究員を中心に、国学研究会を本年度は計3回開催した(本誌トピック9参照)。

(2) 2019年度に引き続き、「国学研究プラットフォーム公開レクチャー」を開催した。これは学内外の国学研究者を招き、それぞれの専門分野の見地から、国学研究の最新状況に関するレクチャーを一般向けに行っていただくものである。本年度は計1回開催した(本誌トピック5参照)。

(3) 昨年度以来、研究所全体で開催されるようになった日本文化研究所研究会に、本プロジェクトからは計3名のPD研究員・研究補助員が報告者として参画した(本誌トピック10参照)。

神道・国学研究部門単独での事業は、本プロジェクトで一区切りを迎えることになる。

2022年度は「国際交流・学術情報発信部門」との合同事業として「宗教文化に関する研究と学術情報発信の体制構築」を遂行している(本誌プロジェクト活動紹介3参照)。

神道・国学関連の事業内容としては、本学図書館に所蔵されている近代の神道・国学関連雑誌の調査および電子化、Shinto Portalの拡充による学術情報の蓄積・発信などを企画・検討している。